

■間の文化 (p. 6~11)

◆◆語句◆◆

意味

のどか：静かでのんびりしている。

やおら：ある動作をゆつくりと始める様子。

円滑に：物事が滞らないで、うまく進む様子。

短文

衝動に駆られる

例旅に出たいという衝動に駆られる。

対義語

重厚⇕軽薄

◆◆読解◆◆

ステップ1

- 1 A ⑧ B ⑨

C 空間 D 時間

E 心理 F はたらき

G 和

2

① 何もない ② 壁

③ 隙間 ④ 何もない

⑤ 音曲 ⑥ 絶え間

⑦ 遠慮 ⑧ 衝突

ステップ2

【本論1】

- 1 ① イ、エ ② ア、ウ、オ

※それぞれ順不同可。

- 2 個人主義
3 自由自在

【本論2】

1 声や音のしない沈黙の時間

2 ① 音のない時間

② 音の絶え間

【本論3】

- 1 ウ ① × ② ○ ③ × ④ ○

【本論4】【結論】

1 例日本人は、あらゆる分野で間を使いこなしながら暮らしているから。

2 ① 異質なもの

② 共存

③ 「和」を実現させる

ステップ3

- 1 ① 隙間 ② 密閉

③ 沈黙 ④ 音

⑤ 距離

2 例私も日本文化は「間の文化」だと思う。特に、人間関係にお

ける「心理的な間」には非常に納得した。母はよく「親しき

仲にも礼儀あり」と言う。家族や仲の良い友人同士でも、遠

慮をなくさないようにというこの言葉は、まさに日本の「間

の文化」を表していると思う。